

“高麗郡歴史講座”のご案内

高麗1300・日本高麗浪漫学会では、今年度も『高麗郡歴史講座』（全4講座）を開講します。講演会とは一味違った少人数ならではの充実した時間のなかで、講師の先生といっしょに『高麗郡の歴史』を深掘りしてみませんか？

★入会随時募集中！★



会場 高麗神社 参集殿2階大広間
(日高市新堀833・電話：042-989-1403)

時間 13:30～15:30

募集人数 各講座40人(事前申込・先着順)

受講料 各講座:会員1,000円/一般2,000円

申込方法 E-mail・電話・FAXで 受講希望講座名
(〇月講座), 氏名, 住所, 電話番号をお知らせ下さい。

※複数講座同時申込可

高麗1300 検索

申込み・問合せ先：高麗1300事務局
住所：〒350-1243 日高市新堀855-3
E-mail：info@komagun.jp
電話：042-978-7432/FAX：042-978-7452

7月講座 前：1日(土) 後：8日(土)

「古代の生業」

～入間郡、高麗郡の窯業・鍛冶・牧～

講師：加藤恭朗（日本高麗浪漫学会研究員）

高麗郡建郡の目的の一つとして、渡来人が持つ先端技術の導入とその技術を利用した生業により、地域の発展がはかられたと考えられています。

今回は入間・高麗郡の遺跡から読み取れる生業を取り上げます。現状では資料が十分に確認されているとは言いがたいのですが、窯業を中心にこの地に根付いた技術があり、生業が高麗郡建郡から郡の発展に関わっていたことを考えてみたいと思います。

6月講座 前：3日(土) 後：17日(土)

埼玉古墳群のナゾを解く

前：古墳群の出現と稲荷山鉄剣

後：古墳群の構造と王権の関わり そして終焉へ

講師：高橋一夫（日本高麗浪漫学会前会長・
元埼玉県立歴史と民俗の博物館館長・歴史学博士）

埼玉古墳群は8(9)基の前方後円墳と1基大型円墳、1基の方墳から形成されています。埋葬施設が発掘調査されているのは、辛亥銘鉄剣が出土した稲荷山古墳と、馬冑や蛇行状鉄製品や銅鏡など出土した將軍山古墳だけです。これら出土遺物から両古墳の性格を明らかにするとともに、古墳群はどのような構造原理で形成されたのかを明らかにし、さらに古墳群の出現と消滅の謎にも迫ります。

9月講座 前：2日(土) 後：9日(土)

入間郡と高麗郡の古代寺院と仏教

前：国家の仏教と勝呂廃寺・女影廃寺

後：山林修行と墳墓の寺 大寺廃寺・高岡廃寺

講師：須田 勉（高麗1300副会長・
日本高麗浪漫学会会長・元国士館大学教授）

古代高麗郡には奈良時代中頃に建立された、それぞれ性格の異なる三か寺が知られています。これは、716年に建郡された高麗郡が、約30年後に、郡として独立したことを象徴する建物として整備されたと考えられています。

本講座では、これらの寺の建物構造や出土遺物の分析を通し、それを古代仏教史の中に位置付け、さらに隣郡である入間郡の勝呂廃寺を含めて検討したいと思います。

10月講座 前：21日(土) 後：28日(土)

前：調布市染地(そめち)遺跡から見えてきた
古墳時代の特異な火どことすまい

～多摩郡狛江郷近隣地の調査～

講師：及川良彦（東京都埋蔵文化財センター
調査研究主任）

調布市染地遺跡は市域の南東端に位置し、東は狛江市と接します。染地遺跡は多摩川の左岸の沖積地上に立地し、縄文時代晩期、弥生時代後期、古墳時代前・中・後期、奈良・平安時代と続き、さらに中世以降も連綿と続く遺跡です。今回は第128地点で検出された特異な古墳時代の住まいや、炉・カマドといった火どこの構造からどのような暮らし、どのような調理を行っていたかを考えてみたいと思います。

後：国宝白鳳仏と深大寺

～高麗福信が仲介か、来歴の謎に迫る～

講師：赤城高志（深大寺学芸員）

多摩郡狛江郷の深大寺白鳳仏は、その制作年代（7世紀末）と寺の開創年代（733年）に約半世紀の隔たりがみられ、その来歴は謎に包まれていましたが、平成29年の国宝指定以来、高麗郡出身の高麗福信が介在した可能性が高まりました。ここでは白鳳仏の最新の研究成果を交え、深大寺白鳳仏の来歴の謎に迫るとともに、天台宗の古刹深大寺の歴史と文化財を紹介します。